

2017年3月期 第3四半期決算説明会

ウシオ電機株式会社

2017年1月31日

＜免責事項＞本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

USHIO

- 2017年3月期第3四半期は**減収減益決算**
- 映像装置事業の業績改善策は**順調に進捗**
- 通期の業績予想は**据え置き**

- I. **第3四半期業績概況**
- II. 映像装置事業の業績改善策の進捗について
- III. 通期業績見通し
- IV. 参考資料

今回の決算発表のポイント

連結売上高は前年比7.1%減の1,249億円
連結営業利益は前年比45.4%減の57億円となり減収減益決算
- 通期計画は据え置き -

売上高 : 1,249億円 (前年比▲95億円、7.1%減)

✓ 円高により約▲110億円減収

営業利益 : 57億円 (前年比▲47億円、45.4%減)

✓ 円高により▲16億円減益。映像装置および主要放電ランプの収益性が低下

親会社株主に帰属する

当期純利益 : 60億円 (前年比▲34億円、36.2%減)

✓ 特別損失「事業構造改善費用」5億円、特別利益「投資有価証券売却益」14億円

※為替レート(2016年度第3四半期) : 1ドル=107円

2016年度 第3四半期 売上高・損益

(億円)	2015年度 3Q累計	2016年度 3Q累計	前年比	
			増減	%
売上高	1,345	1,249	▲95	▲7.1
営業利益	*104	57	▲47	▲45.4
営業利益率 (%)	7.8	4.6	▲3.2P	-
経常利益	130	80	▲49	▲38.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	95	60	▲34	▲36.2
EPS (円)	*73.70	47.58	▲26.12	▲35.4
為替レート (円)	USD	122	▲15	-
	EUR	134	▲15	-

*前第3四半期連結会計期間において行われた企業結合に係る暫定的な会計処理が前連結会計年度末に確定しており、前第3四半期連結累計期間及び前第3四半期連結会計期間の関連する主要な経営指標等については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが生じた場合、反映された後の金額によっております。

対前年比 営業利益増減分析（3Q累計）

（億円）

104

▲ 16

▲ 38

▲ 2

+ 9

57

為替レート（US\$）
2015年3Q累計=122円
2016年3Q累計=107円
（差異▲15円）

主な内訳
クリスティ販管費減少 +18億円
新規連結による販管費増 ▲7億円

47億円減益

FY15_3Q累計
営業利益

為替影響

映像装置
業績悪化
（売上総利益ベース）
(A)

のれん
償却費増加
(B)

その他
(C)

FY16_3Q累計
営業利益

注：(A) (B) (C)の金額は為替影響を除く

セグメント別 売上高、営業利益、営業利益率

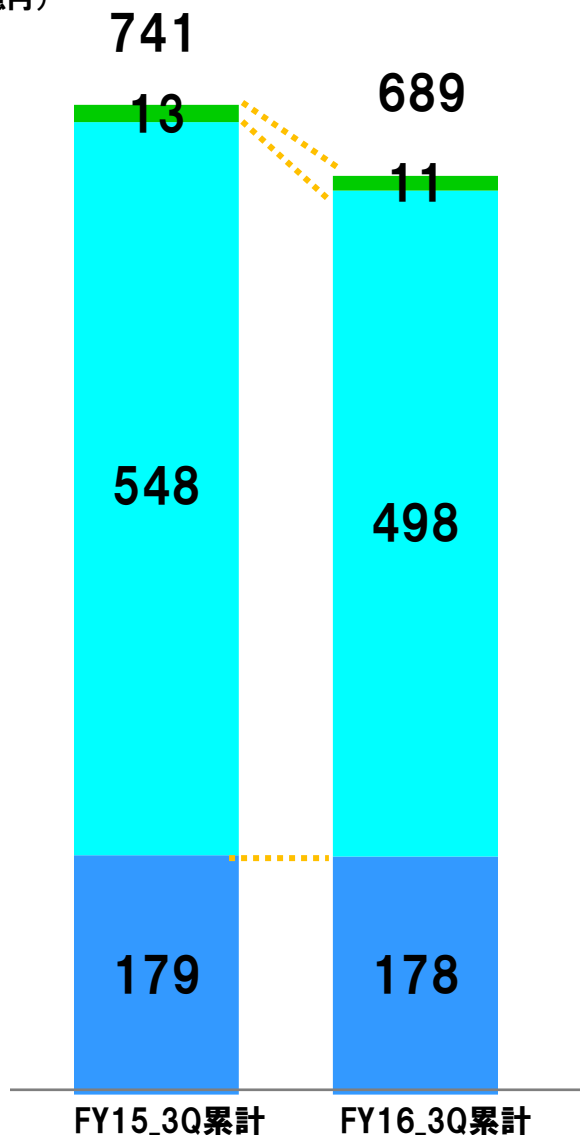
(億円)		2015年 3Q累計	2016年 3Q累計	YoY	
				増減	%
装置事業	売上高	741	689	▲52	▲7.1
	営業利益	16	▲0	▲16	▲102.9
	営業利益率 (%)	2.2	▲0.1	▲2.3P	-
光源事業	売上高	582	535	▲46	▲8.0
	営業利益	87	54	▲32	▲37.0
	営業利益率 (%)	14.9	10.2	▲4.7P	-
その他	売上高	21	24	+3	+16.1
	営業利益	0	0	▲0	▲97.4
	営業利益率 (%)	2.4	0.1	▲2.3P	-

注：売上高は外部顧客への売上高を記載、営業利益率は外部顧客売上高に対する営業利益率

装置事業セグメント概況（売上高）

《3Q累計前年比》  売上高

(億円)



FY15_3Q累計

FY16_3Q累計

注：売上高は、外部顧客への売上高を記載

装置事業合計

売上高
689億円
 前年比 ▲52億円
 ▲7.1%

3Qの概況

映像装置は円高影響と競争激化により減収。光学装置は主に投影露光装置の販売減により減収

照明装置他

11億円
 前年比 ▲2億円
 ▲14.6%

✓ 大型案件減少により減収

映像装置

498億円
 前年比 ▲50億円
 ▲9.1%

✓ シネマ：+6% DCPの販売台数は前年同期比で2割増

✓ 一般映像：▲21% 競争激化により中小型プロジェクターを中心に減収

光学装置

178億円
 前年比 ▲0億円
 ▲0.1%

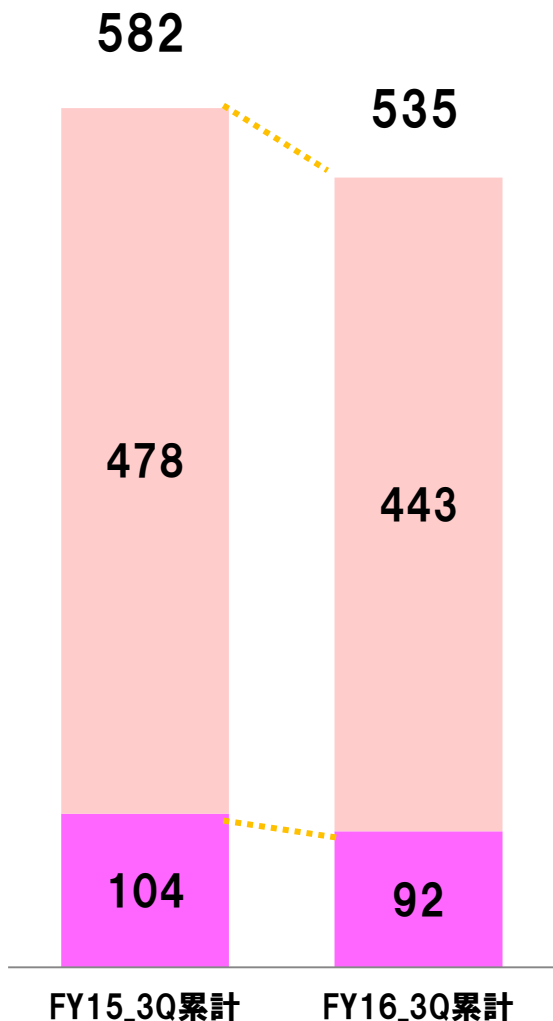
✓ UV装置：▲3% 電子部品用露光装置が減少

✓ キュア装置：+13% 液晶パネル製造用貼り合わせ装置が増加

光源事業セグメント概況（売上高）

《3Q累計前年比》 

(億円)



注：売上高は、外部顧客への売上高を記載

光源事業合計

売上高

535億円

前年比 ▲46億円
▲8.0%

3Qの概況

主要放電ランプは堅調な需要にも関わらず円高などにより減収。ハロゲンランプは円高に加え需要が新興国の廉価品へさらにシフトし単価が下落

放電ランプ

443億円

前年比 ▲34億円
▲7.3%

- ✓ UVランプ: ▲4% 液晶・半導体用は本数ベースで増加も円高により減収
- ✓ シネマ用ランプ: ▲15% 需要は底堅いものの円高により減収
- ✓ データプロジェクター用ランプ: ▲7% 本数ベースでは堅調も円高により減収

ハロゲンランプ

92億円

前年比 ▲12億円
▲11.5%

- ✓ OA用: ▲13% 円高と単価下落により減収

- I. 第3四半期業績概況
- II. 映像装置事業の業績改善策の進捗について**
- III. 通期業績見通し
- IV. 参考資料

映像装置事業の業績改善策の進捗について

■ 業績改善策

リストラクチャリング実施による固定費削減

- 人件費削減（新規採用の凍結、人員削減、賞与減 等）



人員削減は概ね計画通り完了(上期末時点)

- その他経費削減（IT経費、広告宣伝費等の削減 等）

第3四半期末時点：販管費削減実績18億円
（年間削減計画：23億円）

追加施策



倉庫の縮小・統合を決定済み

2Q決算発表における映像装置事業の業績改善策の進捗について

■ 市場環境の変化への対応

対策を実施中、効果は来期以降

①生産体制見直しによる生産コスト低減加速（前年比 10%以上の削減）

- カナダと中国の生産比率を6：4から5：5へ

来期中に達成予定

②製品、地域、分野別にビジネスモデル見直しによる収益力強化

- 採算性の低い地域で販売代理店方式を導入し管理コストを削減など

既に豪州で実施済み、アジアでも検討中

③強みのハイエンドプロジェクター強化

- シネマ分野で優位性を維持するため、強みのハイエンド領域を強化
- ローエンドおよびミドルレンジ領域の在庫水準を見直したうえで、ラインナップを強化

- RGBレーザーの設置サイト数増加
ドルビーシネマ・・・23（2016年6月末時点）→50（2017年1月上旬時点）
クリスティブランドなどドルビー以外・・・60以上
- 新製品を継続的にリリース予定

④トータルソリューションビジネス拡大の着実な推進

- I. 第3四半期業績概況
- II. 映像装置事業の業績改善策の進捗について
- III. 通期業績見通し**
- IV. 参考資料

2016年度 通期の業績予想 サブセグメント別売上高

(億円)		3Q累計	進捗率 (%)	通期 計画 (7.29公表)	通期見通し
装置 事業	映像装置	498	76.7	650	✓ DCPの出荷台数は期初計画を上回る見込み。一般映像の販売は弱含み ✓ 光配向装置、露光装置（UXシリーズ）の出荷は4Qに集中する予定も、期ずれリスクあり
	光学装置	178	63.9	280	
	照明装置他	11	59.3	20	
	小計	689	72.5	950	
光源 事業	放電 ランプ	443	72.7	610	✓ UVランプ、映画館用ランプ、データプロジェクター用ランプの需要は堅調
	ハロゲン ランプ	92	77.2	120	
	小計	535	73.4	730	✓ ハロゲンランプは横ばい傾向
その他	産業機械他	24	124.6	20	
合計		1,249	73.5	1,700	

2016年度 通期の業績予想について

2016年度通期業績予想は据え置き

(億円)	3Q累計	進捗率 (%)	通期 計画 (7.29公表)
売上高	1,249	73.5%	1,700
営業利益	57	63.7%	90
営業利益率 (%)	4.6	-	5.3
経常利益	80	80.7%	100
親会社株主に帰属する 当期純利益	60	87.0%	70

為替前提レート (通期)

USD	105円
EUR	115円

為替感応度：1円変動による影響額 (通期)

	売上高	営業利益
対USD	約10億円	約1.5億円

- I. 第3四半期業績概況
- II. 映像装置事業の業績改善策の進捗について
- III. 通期業績見通し
- IV. **参考資料**

参考：四半期損益比較

《四半期損益比較》

(億円)	FY16	FY16	FY16	QoQ	
	1Q	2Q	3Q	増減	%
売上高	399	425	424	▲0	▲0.1
営業利益	9	21	25	+4	+20.1
営業利益率 (%)	2.4	5.1	6.1	+1.0P	-
経常利益	4	26	49	+23	+88.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	1	16	42	+25	+150.3
EPS (円)	1.24	13.24	33.15	+18.66	+128.8
為替レート (円)					
USD	111	104	106	+2	-
EUR	125	115	116	+1	-

参考：セグメント別 売上高、営業利益、営業利益率 《四半期比較》

(億円)	(A)		(B)	(B-A)	
	FY16	FY16	FY16	QoQ	
	1Q	2Q	3Q	増減	%
装置事業					
売上高	212	240	236	▲4	▲2.0
営業利益	▲7	▲3	10	+14	-
営業利益率 (%)	▲3.6	▲1.5	4.6	+6.0P	-
光源事業					
売上高	181	177	176	▲0	▲0.3
営業利益	17	23	14	▲8	▲37.7
営業利益率 (%)	9.6	13.0	8.1	▲4.9P	-
その他					
売上高	5	7	11	+4	+65.7
営業利益	▲0	0	0	▲0	▲74.9
営業利益率 (%)	▲3.3	2.3	0.4	▲2.0P	-

参考：前年同期比較 《四半期比較》

《前年同期比較》

(億円)	FY15	FY16	QoQ	
	3Q	3Q	増減	%
売上高	459	424	▲34	▲7.5
営業利益	39	25	▲13	▲34.3
営業利益率 (%)	8.6	6.1	▲2.5P	-
経常利益	*54	49	▲5	▲9.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	40	42	+1	+3.8
EPS (円)	*31.60	33.15	+1.55	+4.9
為替レート (円)				
USD	121	106	▲15	
EUR	133	116	▲16	

《セグメント別比較》

(億円)	FY15	FY16	QoQ	
	3Q	3Q	増減	%
装置事業				
売上高	262	236	▲26	▲10.0
営業利益	11	10	▲0	▲3.3
営業利益率 (%)	*4.2	4.6	+0.3P	-
光源事業				
売上高	190	176	▲14	▲7.5
営業利益	27	14	▲12	▲47.4
営業利益率 (%)	14.3	8.1	▲6.2P	-
その他				
売上高	6	11	+5	+91.7
営業利益	0	0	▲0	▲82.1
営業利益率 (%)	3.8	0.4	▲3.4P	-

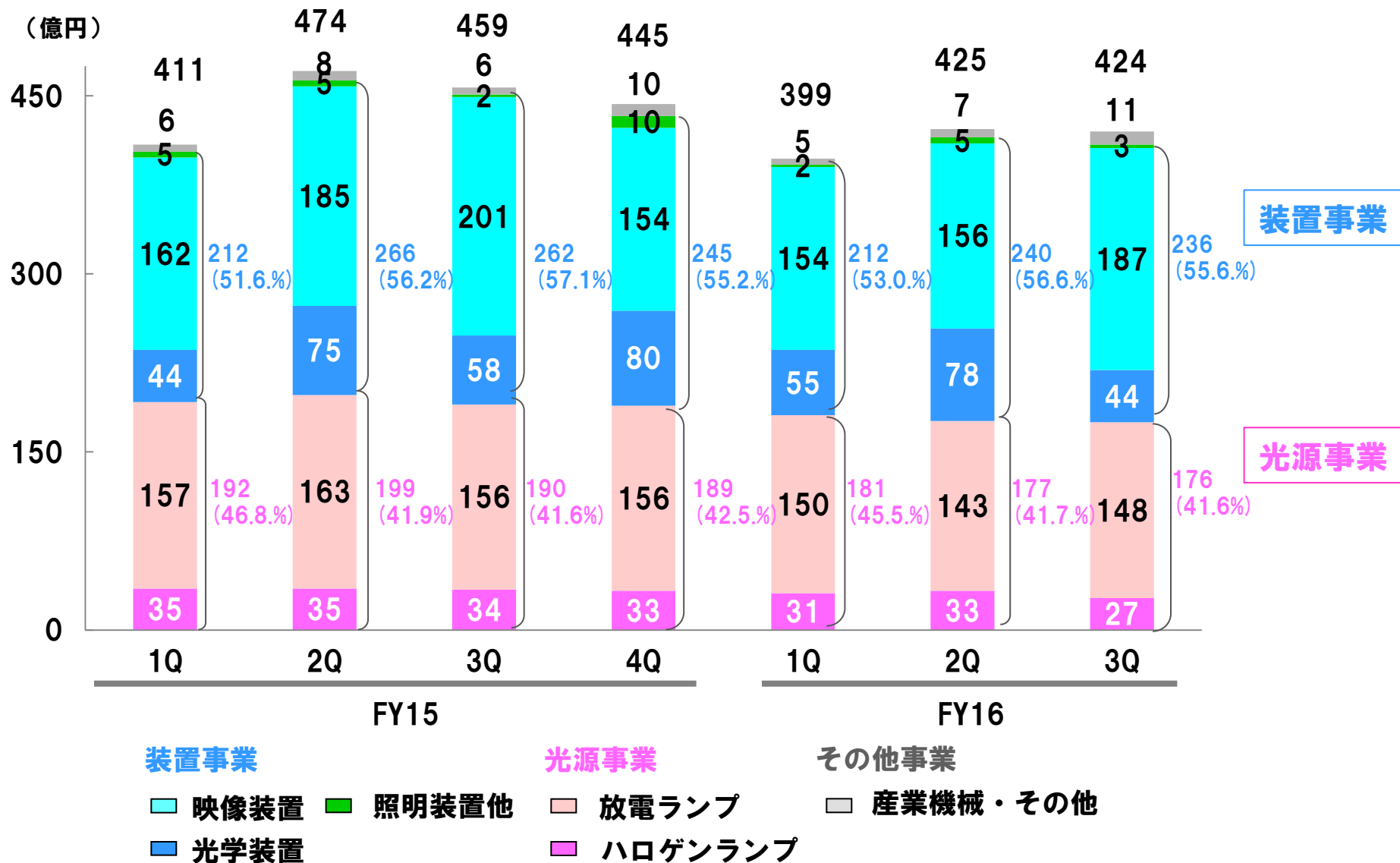
*詳細はPg.5 をご覧ください。

参考：営業外収支、特別利益/特別損失《3Q累計》

(億円)	FY15	FY16	YoY
営業外収益	29	29	+0
受取利息	5	5	▲0
受取配当金	11	12	+1
為替差益	7	-	▲7
売買目的有価証券運用益	1	3	+2
その他	2	6	+4
営業外費用	3	5	+2
支払利息	1	2	+0
為替差損	-	3	+3
その他	1	0	▲0
営業外収支	25	23	▲2

(億円)	FY15	FY16	YoY
特別利益	19	18	▲0
固定資産売却益	10	4	▲6
投資有価証券売却益	2	14	+12
負ののれん発生益	5	-	▲5
その他	0	-	▲0
特別損失	4	7	+3
事業構造改善費用	-	5	+5
その他	4	2	▲1

参考：サブセグメント別売上高 《四半期比較》



参考：地域別売上高比率《3Q累計》

[北米]

- ・映像装置の販売が減少
- ・円高

[アジア]

- ・中国でのDCP販売増加

[欧州]

- ・DCPの販売減少

FY15_3Q累計

売上高
1,345億円

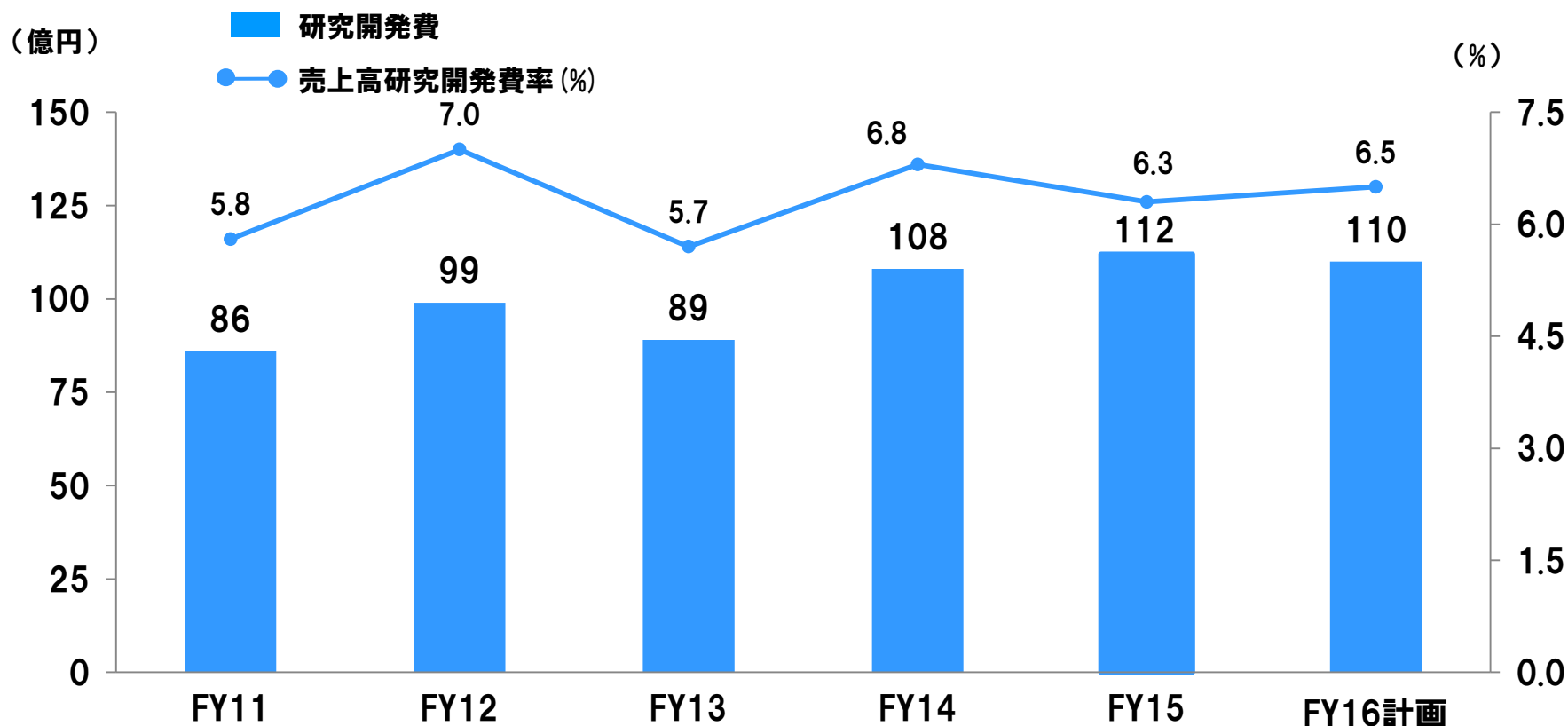


FY16_3Q累計

売上高
1,249億円

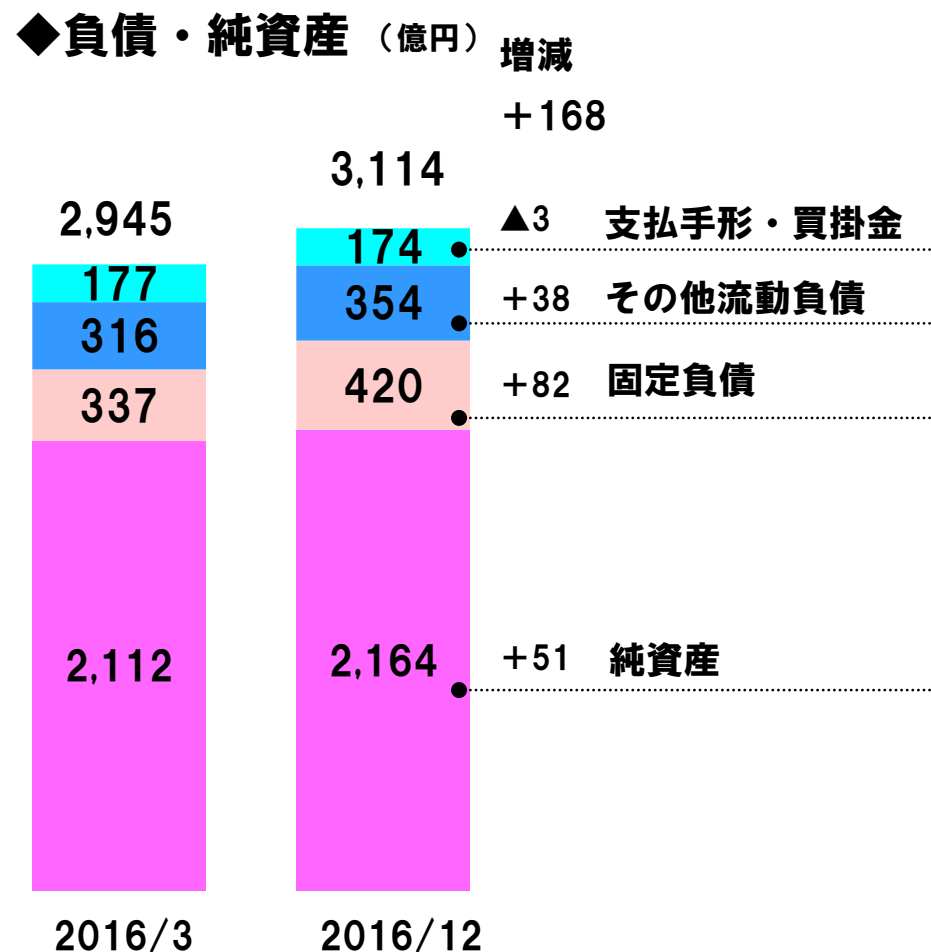
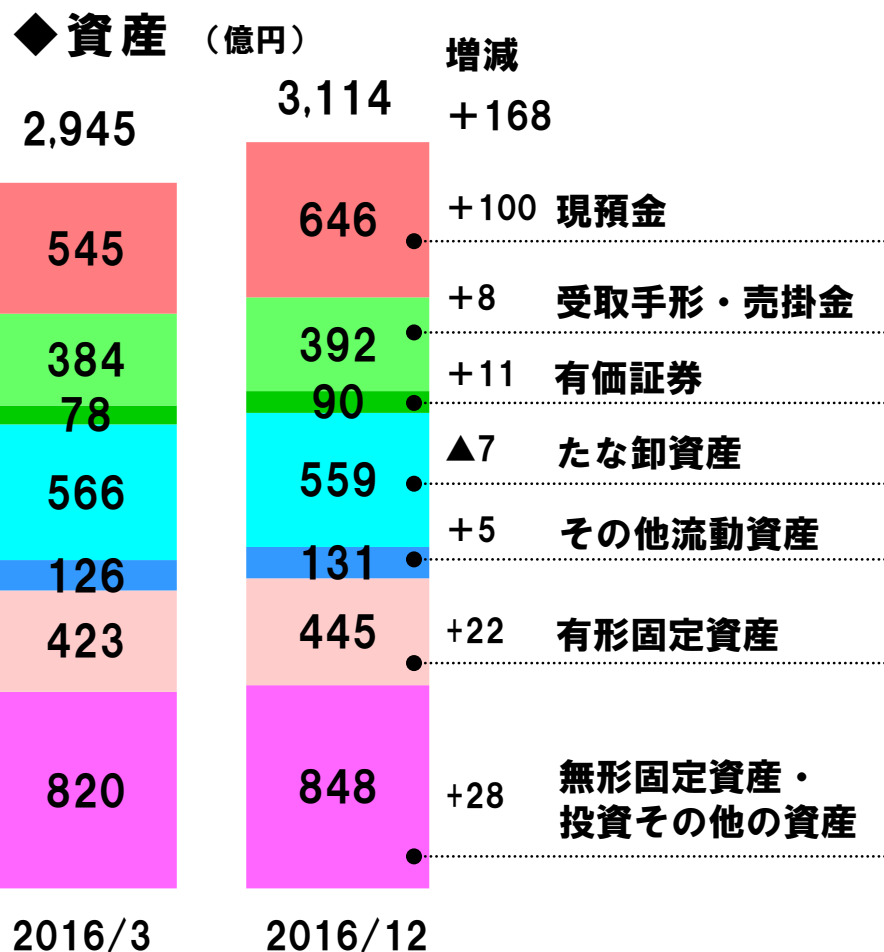


参考：研究開発費



(億円)	2015年度 3Q累計	2016年度 3Q累計	前年度比		通期計画	
			増減	%	7.29公表	進捗率 (%)
研究開発費	79	72	▲7	▲9.6	110	65.6
売上高研究開発費率 (%)	5.9	5.8	▲0.2P	-	6.5	-

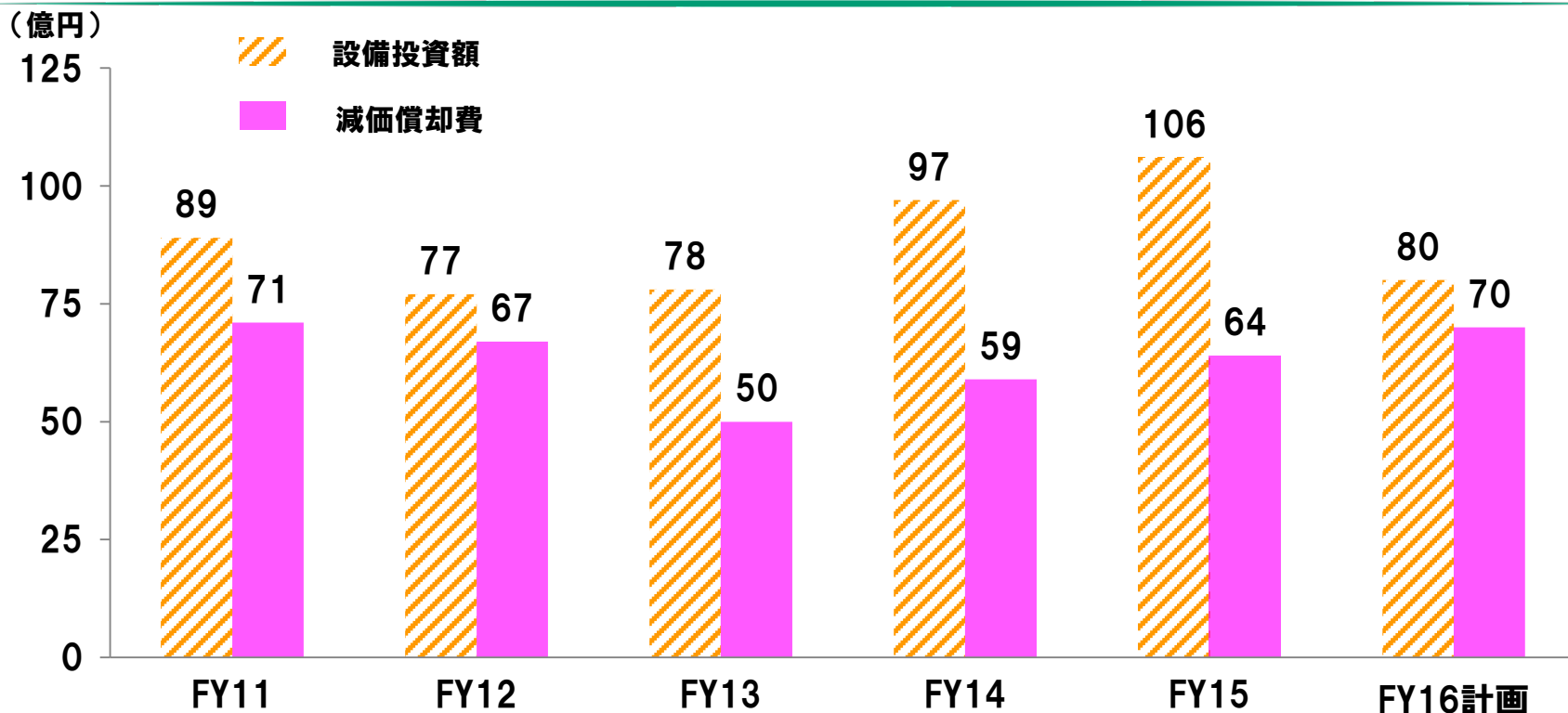
参考 : BS



●回転月数 (ヶ月)	2016/3	2016/12
売上債権	2.6	2.8
たな卸資産	3.8	4.1

●自己資本比率 (%)	2016/3	2016/12
	70.9	68.7

参考：設備投資額・減価償却費

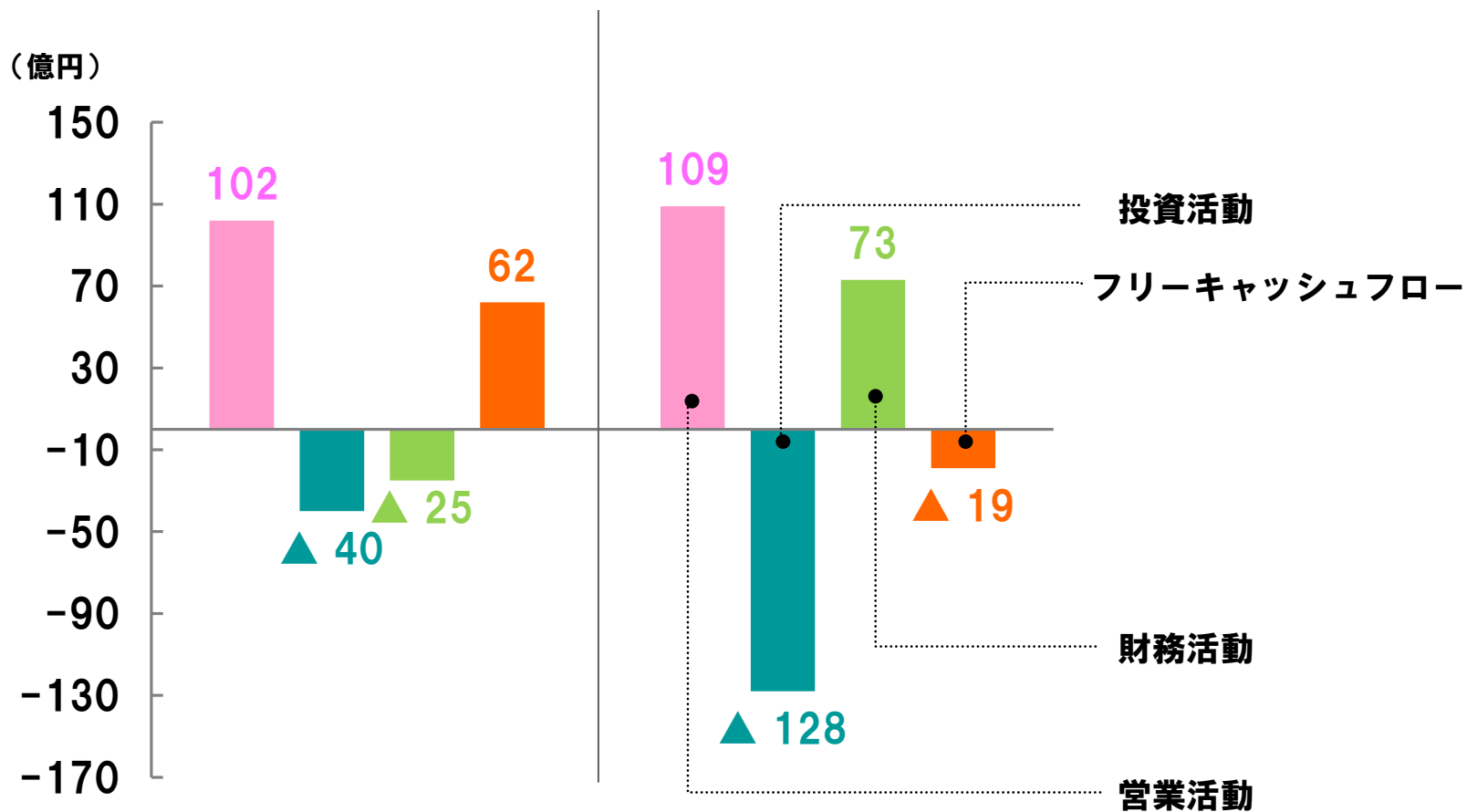


(億円)	2015年度 3Q累計	2016年度 3Q累計	前年度比		通期計画	
			増減	%	7.29公表	進捗率(%)
設備投資額	76	69	▲7	▲10.1	80	86.5
減価償却費	47	49	+1	+2.6	70	70.0

注1. 設備投資額は「有形固定資産」+「無形固定資産」。ただし、「のれん」は除く。

注2. 設備投資額に含まれない「のれん」増加額 FY15_3Q:22億円、FY16_3Q:-億円。

参考：キャッシュフロー《3Q累計》



FY15	
期首現金残高	569
期末現金残高	593

FY16	
期首現金残高	478
期末現金残高	528

参考：自社株買いの状況

		金額	株数	期間
2015年度	実績	20.0億円	1,138千株	2015年5月12日～ 2015年6月11日
	実績	9.6億円	640千株	2016年2月1日～ 2016年4月8日
2016年度	実績	8.6億円	670千株	2016年5月12日～ 2016年6月13日
	7.29 公表	20.0億円	1,500千株	2016年8月1日～ 2017年2月28日

12月31日時点で40千株取得

プレスリリース：中国で医療・バイオの新会社を設立

100%子会社であるウシオ蘇州とウシオ上海が、中国の医療機器の技術開発販売会社である生標と合併で中国における先端医療機器および周辺機器の研究開発・製造・販売会社を設立

中国におけるウシオと生標(せいひょう)について:

ウシオはすでに中国において紫外線皮膚治療器や動物用血液検査装置などの医療機器を製造販売しており、生標は中国における前癌病変診断の特許と共に、中国政府や医療施設への強固な販路を保有

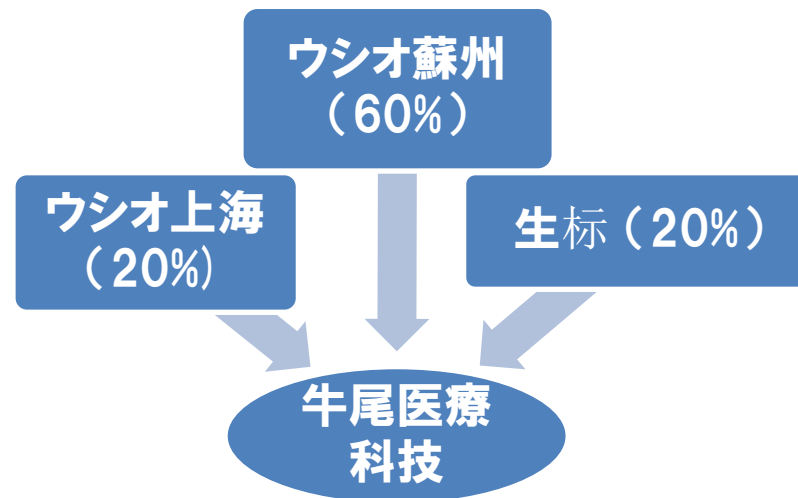
新会社について:

ウシオは中国において医療機器の研究開発体制の構築と販路拡大を進めると共に、新会社を中国のみならずアジアにおけるウシオグループ全体の医療・バイオ事業の重要拠点として位置づけ、多様な市場の要望に迅速に対応できる研究開発・供給体制を構築予定

今後の予定:

新会社の社屋および工場は、中国の国家産業構造改革の一環として医療器械イノベーションセンターが置かれている蘇州市高新区に新設し、2017年3月からはウシオがすでに製造販売をしている紫外線皮膚治療器や動物用血液検査装置の取り扱いを開始し、同年7月には新製品の販売を開始する予定

(<http://www.ushio.co.jp/jp/news/1001/2017-2017/500124.html>
(2017年1月13日発表))



資本金: 約2.5億円
設立: 2016年12月



プレスリリース：オランダ研究機関にて高輝度EUV光源のファーストライトに成功

当社は2016年12月7日、オランダ応用科学研究機構(The Netherlands Organisation for Applied Scientific Research: 以下TNO)において極端紫外光(EUV)光源のファーストライト※を達成いたしましたので、お知らせします。

これは、2016年2月にTNOと締結したEUV技術開発戦略的パートナー契約にもとづいたもので、同年11月に出荷し、同年内のファーストライトを目指して開発を進めていました。当光源はレーザーアシストプラズマ放電方式(SnLDP)を採用しており、TNOにおいてEUVの光学系やマスク、ペリクルなどの研究開発に用いられるものです。今後TNOは当光源を搭載した装置の調整を進め、2017年4月から全世界の企業や機関などに向けて各種研究・評価サービスを開始する予定です。

このEUV露光プロセスを量産技術として確立するためには、ウシオが進めている高精細なマスクを検査するための光源の実用化が必須であり、国際的研究機関での実績は重要なマイルストーンのひとつでした。今後ウシオは、今回の技術をさらに進展させ、半導体製造プロセスの進化に貢献してまいります。

※ファーストライトとは、光源部と露光部の結合後で初の照射のこと。

<http://www.ushio.co.jp/jp/news/1002/2017-2017/500126.html>
(2017年1月16日発表)



参考：用語集

DCP	Digital Cinema Projector	デジタルシネマプロジェクター
OA	Office Automation	オフィスオートメーション
OLED	Organic Light Emitting Diode	有機EL
EUV	Extreme Ultra Violet	極端紫外(光)

USHIO

本資料に関するお問い合わせ先
ウシオ電機（株）経営企画部
(03) 5657-1007
ir@ushio.co.jp
<http://www.ushio.co.jp/jp/>